



# 善正寺だより

〒:512-0902  
 三重県四日市市  
 小杉町1014  
 浄土真宗  
 本願寺派  
 善正寺  
 ☎:059-331-1670  
 fax:059-332-0733

## 掲示板法話

### 「摂取不捨」の涙に遇つてこそ

#### 闇から光の世界に呼び戻される

涙を流すのは人間だけだ、と思つて  
 いましたが、犬も涙を流すのですね。  
 研究者の実験で、飼い主としばらく離  
 れ離れにされた犬が、飼い主と久しぶ  
 りに会った時、涙を流して飼い主に駆  
 け寄りました。そして、飼い主が抱き  
 しめると犬は更に大粒の涙を流しまし  
 た。ところが、別の人が近づいても、犬  
 は全く反応がありません。犬と飼い主  
 の間の情愛が根底にあつて初めて涙が  
 出ることが分かります。

この涙を流すときに分泌される物質  
 をオキシトシンというそうですが、そ  
 のオキシトシンは利他ホルモンとも言  
 われます。母親が赤ちゃんを抱っこし  
 て、授乳するときに分泌されるホルモ  
 ンとして有名です。子供は母親の流す  
 オキシトシンによって育てられる、言い  
 換えれば利他の心によって子供は育て  
 られるというのです。

ところが人生は山あり、谷ありの連  
 続です。一緒に泣いてくれる人があつ  
 て初めて、暗闇の底から光に遇えるの  
 でしょうね。

ある少年が犯罪を犯し、母親が面会



に来ました。少年は母に謝ろうとしま  
 したが、言葉が出ません。ところが、母  
 親が真っ先に「ごめんなさい」と泣いた  
 のです。泣き崩れる母の姿に息子も泣  
 きました。その気持ちを少年は詩に詠  
 みました。

あなたを裏切つて

泣かせてしまったのに

あなたは 僕に謝つた

アクリル板ごしに ごめんねと

悪いのは この僕なのに

あの日の泣き顔が忘れられない

ごめんなさい 母さん

(寮美千子編「奈良少年刑務所詩集」  
 空が青いから白を選んだのです)

母の涙の底に、我を捨てておけぬと  
 いう深き慈悲の心が満ちていることに  
 少年は気づいたのでしよう。母の涙(利  
 他の心)が少年を光の見える世界に呼  
 び戻す力となったのですね。

「十方微塵世界の

念仏の衆生をみそなはし

摂取して捨てざれば

## ☆行事ご案内☆

### 10月の門信徒例会

10月16日(日)午前8時半

報恩講の意義、次世代に伝えたいことは?

### 『句会ライブ』新企画 小5孫の主催

9月24日(土)午後2時

俳句初心者大歓迎 句会ライブ 参加者募集!  
 俳句の面白さを伝授、景品あり



夕方5時の鐘撞き 年中無休 親子歓迎、ガムチョコ進呈

一縁会テレホン法話 ☎059-354-1454

3分間で週替わりに三重組5か寺住職の法話聞けます

三重組十三日講 10月13日 コロナ感染予防のため中止

次は来年3月13日 善正寺で初講お迎え

三重組コーラス再開 10日3日 智積西勝寺様で再募集!

善正寺ホームページ「三重善正寺」検索、俳句BOX設置

30年間毎月発行の寺報が過去一年分閲覧可。毎日更新

ブログ『住職と坊守のつれづれ日記』大好評。14年間で

38万6千訪問、お悩み相談、仏事相談歓迎、即返信

報恩講予定 11月2日午後1時半、3日午前10時

午後1時三全仏婦報恩講、(守快信先生)2日午前お非時は

希望を伺います。

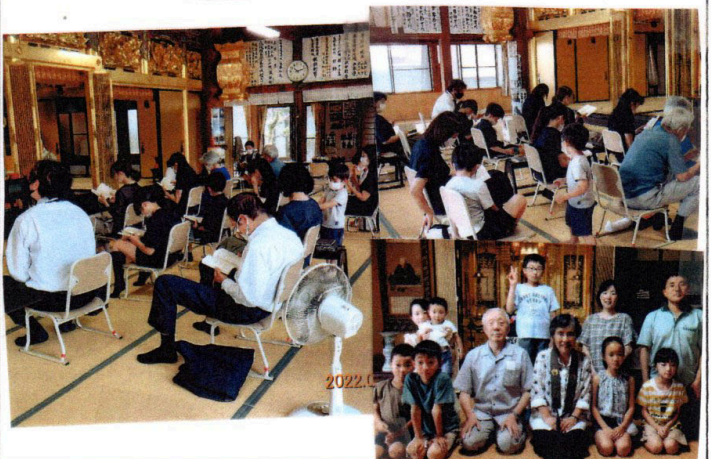
新納骨堂後継者の無い方、お墓でお困りの方、ご相談を

法事場所 お困りの方、本堂使用可、寺にご相談下さい



阿弥陀となづけたてまつる」  
 (浄土和讃・弥陀経讃)  
 「仏説阿弥陀経」と共に、よく唱和さ  
 れる「和讃ですが、「十方の無数の世  
 界にいる念仏の衆生を」観になり、そ  
 のすべてを救い取つて(摂取して)捨て  
 ないから、阿弥陀(無量)と名づけたて  
 まるのです」という意味です。私たちは  
 皆、お念仏申すとき、阿弥陀さまのお  
 救いの涙に遇わせて頂いているのです。

## ☆ 写真アラカルト ☆





### 坊守スケッチ

## 俳句に夢中な孫



小5の孫の趣味は俳句です。さすがお寺の子供に相応しい趣味です。きっかけはTV番組のプレバト。夏井いつき先生と梅沢富美男さんの大ファンで、小3の時、学校に俳句クラブを作ったほどです。

夏休みに学校から「亮爾君が作った『いのちの俳句』が入選し愛知県で表彰式があります」と連絡がありました。「へえ、どんな俳句を作ったの?」

「**青空を閉じこめゆがむシャボン玉**」

「どんな意味なの?」

「別に、見たまま感じたままだよ」

「へえ、季語は何なの?」

「シャボン玉で、春の季語だよ」

大人はついつい俳句に隠された深い意味を考えがちです。

「青空を閉じこめ」の背景にはどんな人間模様があるのかしら? 青空は果てしなく広がっているのに? 悩みがあつて家に引き籠る子供かしら? 何故シャボン玉がゆがむの?」

「バアチャン、深読みし過ぎ。急に風が吹いてシャボン玉がゆがんだだけ」 人生の荒波を生きてきた私には、シャボン玉は丸くてすぐに消え去る儚い命という概念が離れず、歪むには隠された理由があると想像しました。

今までの人生経験が邪魔をして、素直に喜べずに、見たままを自由に表現する感受性を失くしていました。

お説教もついで自分の価値観で聞くと、仏様の教えが素直に受け取れませんでした。孫に一本取られた思いでした。

ところでNHK俳句9月号(子供の部)に孫の俳句『初夏の朝家族の分のお弁当』が特選になりました。ダブルラッキーで益々孫の俳句熱はヒートアップしています。朝起きてきたら、台所にお弁当が並び、家族と過ごす楽しい一日が想像できます。

俳句は紙と鉛筆さえあれば、誰にでもできる手軽な趣味です。もはや高齢者の専売特許ではありません。

私達も日常生活の些細な出来事に焦点を当て、仏教的な味わいを加味した俳句を作ってみませんか? 認知症予防の脳トレになると思います。

### 俳壇

百六歳全うしせり蟬時雨

釋妙水

ユニフォーム汗涙泥混り合う

朝顔や今年も咲きし三年目

頂にダイヤを放ち秋の富士

花火止みしじまの空の星の影

向日葵のじつと見ているレンズ越し

輪になって踊太鼓や手をかざし釋住安

角五つ桔梗のつぼみほころびぬ

茄子の花どれも実をつけむだがなし

明かり一つ夜の神社の虫の声

いとこの句いのリュック秋来る

秋暑しばんそうこうのはがれけり

秋暑しばんそうこうのはがれけり

秋暑しばんそうこうのはがれけり

秋暑しばんそうこうのはがれけり

秋暑しばんそうこうのはがれけり

秋暑しばんそうこうのはがれけり

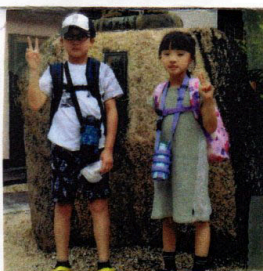
### 若坊守の子育て日記No.93

行動制限のない夏休み、コロナはとんでもない状況でした。「でも夏はプールに行きたい!」というところで塩浜のヘルスプラザへ週一回通いました。長男が水泳の個人コーチをお願いしていたHさんに教わったヘルスプラザは綺麗で快適です。コロナで人数制限はしていましたが、開館と同時に行ったので混雑はありませんでした。

長男が得意のクロールで自由に泳ぎ回っている一方で、長女は泳ぎを習ったことがありません。でも「浮けるようになりたい。」と常々言っていて、目標は明確なようです。

決めたらコツコツと努力するタイプの長女は、ひたすら潜っては浮いての繰り返し。そのうちにコツを掴んで「浮けた〜!」と満面の笑みです。

次は一息で泳げる距離を黙々とバタ足です。一時間、ずっと同じ場所です。泳ぎ続けるその根性はなかなかのもの。少しずつできることが増え、傍で見て成長を確認できたことに、小さな感動を覚えた夏の一日でした。



※ 輪唱の絶ゆる暇なく法師蟬 釋清風

焼跡に生まれし喜寿の終戦忌 雲海や鈴峯蒼く浮かびをり

お知らせ  
※『句会ライブ』9月24日(土)午後2時本堂で開催。小5孫の初企画、俳句初心者大歓迎、お気軽にご参加下さい。  
※三重組コース再開&再結成、智積西勝寺様にて。10月3日、11月22日、12月8日いずれも午後1時より**カンパありがとう**  
赤井淑子様、他匿名様より、感謝!

**句会ライブ 参加者募集!**  
五分で作れる技を伝授!!  
9月24日(土) 午後2時から 善正寺にて 俳句を作ったことのない人におすすめです  
参加者にはプレゼントあります!

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」346号をお届けします。◇再び医療危機を起こしたコロナの第七波も漸く下り坂。感染者数の全数把握を止める段階に。◇コロナのために寺も門信徒の皆さんも何かと委縮気味だったが、後生の一大事を思えば、聞法、聴聞は決して不要不急ではない。必要緊急事である、との腹構えを持たねばならない。◇適切な予防策を講じながら、報恩講の秋を迎えたい。◇ウクライナ戦争によるエネルギー危機、電力不足が懸念されるが、この世は娑婆世界、堪え難きを耐え、「おかげ様」と生かされ、「有難う」と生き抜いて参りましょう。南無・合掌。



秋の気配を感じる今日この頃、如何お過ごしですか。連日コロナ感染者数が過去最多を記録する日が続きました。ロシアのウクライナ侵略戦争も先が見通せません。今年から一ヶ月遅れの秋季永代経ですが、その頃には感染が幾分治まることを願っています。しかし、全ては阿弥陀様にお任せです。どのような状態でも肅々とお勤めするつもりです。また一週間後には小生の孫の初企画で日句会ライブを開催します。「俳句作りが初めての人大歓迎」俳句の面白さを伝授」とポスターに明記していますので興味のある人は遊びに来て下さい。私達も期待半心配半分の気楽な気持ちで参加します。最近大事件が次々にマスコミを賑わしています。事件の最大の原因は「家族の崩壊」ではないでしょうか。現代人はご先祖や周囲の人々が築いて下さった「つながり」をもとも簡単に切りました。「今さえよければ自分さえよければ、お力不さえあれば」と利己主義的な生き方をしています。自分にとって一番大事なもの、はスマホで、スマホなしの人生は考えられないそうです。「つながりを大切に、する教育」を今一度取り戻しましょう。あと十年もすれば、日本は高齢者で溢れます。誰もが他人のお世話が必要とする日が必ずやって来ます。その日の為、に今から「ありがとう」の言葉を言う練習をしましょう。今私達が身近な高齢者にお世話させて頂くのは、やがて老いを迎える自分の予習にもなります。子供叱るな来た道、年寄り笑うな行く道、じゃ「お互い思いやりの心を持ちましょう」令和四年十月 合掌 善正寺方守拝